

1月24日開催 総括副部長会議における主な意見

開催日	平成29年1月24日(火)
協議案件名	草津市定員管理計画(案)の策定に係る協議について
主な意見等	<p>① 特に福祉部門を増やしていただきたい。</p> <p>② 本市は衛生部門において下回るということだが、職員数の増員をお願いしたい。</p> <p>③ 臨時職員・嘱託職員等の非正規職員を配置するにあたり、予算措置以外の縛りや基準はあるのか。 → 明確な基準は特に定めていないが、財政規律ガイドラインの中で人件費の基準については記載があり、その基準を上回らないよう意識して配置している。</p> <p>④ 幼稚園・保育所現場は、産休・育休を利用している職員が20人ほどいる。産休・育休を利用する職員は職員課あるいは幼児課付けにして、正規職員で代替えするという方法をとることも検討いただきたい。 → 幼稚園・保育所のみならず、今指摘いただいた正規の職員で代替え(任期付き職員)する方法についても検討していきたい。</p> <p>⑤ 土木技師や幼稚園・保育所採用試験については、現実に即した試験スタイルに変えるべきでは。 → 試験は比較的簡略化しているが、今後も試験の簡易化は検討していきたい。</p> <p>⑥ 政令指定都市を中心に、福祉専門職を採用している。一般職と専門職のすみわけをどうしていこうと考えているか。 → 社会福祉士という専門職も採用しているが、まだまだ一般行政職の職員が多い。専門職という「スペシャリスト」を最初から配置することだけでなく、一般行政職員にも特定の部署で比較的長期働いていただき、経験とともにスキルをあげていただく「エキスパート」を育成する方針も検討している。</p> <p>⑦ 非正規職員の率をあげていくことを考えているのか。 → 特段検討していない。</p> <p>⑧ 臨時職員が休むと正規職員が休めないという現状や、子どもの担任をするという責任から、正規職員が休暇を取りにくいという現状を踏まえ、対策は検討いただきたい。 → 正規職員の代替えの件も含め、正規職員を確保していきたいと考えている。</p> <p>⑨ 定数変更の条例改正はいつ頃を予定しているのか。 → 条例改正は2月に提案したいと考えている。</p> <p>⑩ 職員の採用が大きな課題であると考えられる。より活発に働きかけをしていただきたい。また、アウトソーシングのみならず、若い職員を育てていくことも大切。 → 今後も大学訪問をさせていただく。</p> <p>⑪ 草津市の特色をどういう風に見込んでこの目標定員数を設定しているのか。 → 全国的に見た市職員数は減少傾向にあるが、本市は人口増の状態かつ具体的に予定されている事業もまだまだある。人口増かつ行政需要の増大も含めて、この目標定員数を設定している。</p>